

令和6年度
学校関係者評価 報告書

社会福祉法人 長岡福祉協会
長岡崇徳福祉専門学校

令和7年6月13日

令和6年度学校関係者評価報告書

社会福祉法人長岡福祉協会
長岡崇徳福祉専門学校
学校関係者評価委員会

社会福祉法人長岡福祉協会長岡崇徳福祉専門学校学校関係者評価委員会は、令和6年度自己点検・評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員

- ・ 関連業界等関係者及び教育に関し見識を有する者

大井秀行 新潟県介護福祉士会会長

武藤睦治 長岡崇徳大学 事務局長

長岡科学技術大学 元副学長、元教授

- ・ 本校校長

齋藤 智

- ・ 本校校長が指名する者

木村ひとみ 長岡崇徳福祉専門学校 介護福祉学科教務主任

佐藤正幸 長岡崇徳福祉専門学校 介護福祉学科専任教員

金山聡子 長岡崇徳福祉専門学校 介護福祉学科専任教員

風間敏 長岡崇徳福祉専門学校 事務長

2. 基本方針

自己点検・評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会（以下「関係者委員会」という。）に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用するものとする。

3. 主な評価項目

- | | | |
|-------------|-----------------|----------|
| 1. 教育理念・目標 | 2. 学校運営 | 3. 教育活動 |
| 4. 学修成果 | 5. 学生支援 | 6. 教育環境 |
| 7. 学生の受入れ募集 | 8. 教育の内部質保証システム | 9. 財務 |
| 10. 法令等の遵守 | 11. 社会貢献・地域貢献 | 12. 国際交流 |

自己点検・評価表

実施日：令和7年3月31日

学校名：長岡崇徳福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校は学校教育法（昭和22年法律第26号）並びに社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）に基づき、介護福祉士に必要な専門的知識及び技術を教授し、あわせて豊かな人間性を養い、人々の健康と福祉に寄与し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1) カリキュラムの見直し

- 各年次配当科目の見直しを行う。

2) 経営の安定（学生の確保）

- 知名度の向上活動（高校訪問、ガイダンス参加、上級学校訪問の受入れ。

3) 学習環境の整備

- 学生生活を送る上で、校内の環境整備を行う。（教室、実習室、ラウンジ等）
- 留学生の修学と生活支援及び日本語教育への関わり

4) 設備の整備

- 実習室の教育活動備品を段階的に入替
- 空調設備の整備（R7年度は3年計画の3年目）

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育の理念・目標

	評価項目	結果
1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3
2	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
3	学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	3
5	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・日本人入学者の減少化など社会ニーズに合わせた長期的な構想を考える必要がある。
- ・医療や介護・福祉を運営する事業団の中にある専門学校と認識しているが、環境を活かしきれていない。
- ・温かい思いやりのある介護福祉士の養成
「安心」を提供できる知識、技術、問題解決能力を養うためには何をどうすればよいのか、組織全体で考える。

② 今後の改善方策

- ・さらなる事業団との連携強化。
- ・入学者の特性に応じた教育を行う力の向上。

③ 特記事項

<評価コメント>

- ・社会福祉法人として人材の育成を広く周知していく必要がある。また、専門学校の所属している事業団と協同して介護教育を考えていくことが大切である。

(2) 学校運営

	評価項目	結果
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

・社会福祉法人の組織体制や人事・給与等規程、人事考課等に、教育機関があてはめられている。

② 今後の改善方策

・教育分野に対する体制づくりの検討。

③ 特記事項

<評価コメント>

・福祉法人としての規定や組織はしっかりと整備されているが、教育機関とした場合は当てはまらないことも多くあるため、いろいろな面での整備が必要である。

(3) 教育活動

	評価項目	結果
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
3	学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
4	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
10	資格取得等に関する指導体制・カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- 授業評価の仕組みを当校にあったものに整える。また実習評価も同様。
- 教育機関であるが、科目に研究費（研修費）がない。

② 今後の改善方策

- 一律の評価表を作成し、科目修了時に実施する。

③ 特記事項

- レクリエーションの義務研修、介護福祉士養成施設協会の研修会、学会には参加している。

<評価コメント>

- 授業評価等を取入れ、学生からの評価を行い、より質の高い教育となるような仕組みを検討していく必要がある。

(4) 学修成果

	評価項目	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- 卒業生に対してのフォローが不十分である。国家試験対策程度の関わりにとどまっている。相談があれば応じている程度。
- 国家試験の方法が変わるので、合格へ向けての情報提供と支援が必要。

② 今後の改善方策

- 事業団内に就職した学生については、就職先と連携していく。
- 法人本部と研修等を企画したり、今後も事業所の研修に参加したりしていく。

③ 特記事項

- 喀痰吸引等研修 実地研修では事業団外へ就職した卒業生が受講しており、施設訪問等で現況を確認することができる。

<評価コメント>

- 国家試験対策、就職支援は十分行えている。卒業生の活動やフォローについて就職先と情報共有を行う必要がある。

(5) 学生支援

	評価項目	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・留学生、就職について全職員で担当にあっている。
- ・今年度は学生相談室の活用がなかった。

② 今後の改善方策

- ・留学生に対しては法人との連携も重要であり、共通認識を高めていく必要がある。
- ・学生相談室の利用を気軽にできるような体制を構築する。

③ 特記事項

- ・喀痰吸引等研修 実地研修では卒業生のフォローができています。

<評価コメント>

- ・全体的に適切である。

(6) 教育環境

	評価項目	結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3
3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	3
4	防災に対する体制は整備されているか	4
5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・介護実習室に関して、設備・備品の交換時期である。

設備に関しては、新しいもの見ることで実際の現場との乖離がなくなり、実習時にスムーズに学習が行うことができる。

② 今後の改善方策

- ・現場に則した物品を計画的に配置する。

③ 特記事項

<評価コメント>

- ・開校してから 30 年が経過しており、計画的に設備・備品の入れ替えを検討していく必要がある。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	結果
1	学生の入学について、適正に行われているか（例えば、入学願書などの文書を適切に管理しているか）	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学生学納金は妥当なものとなっているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- 専任の広報活動できる人員が配置されていない。
- 高校生・保護者・進路指導教員の介護福祉士職に対する興味・関心が薄い。
- 30年以上前に創立しているが、学校の知名度がない。

② 今後の改善方策

- 教職員全体で募集活動についての具体的な検討が必要。

③ 特記事項

<評価コメント>

- 学校の知名度向上に向け、検討が必要である。教職員一丸となり高校訪問やオープンキャンパスに取り組んでほしい。

(8) 教育の内部質保証システム

	評価項目	結果
1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	2
2	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	3
3	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- 学生アンケート、授業評価について組織的にできていない。

② 今後の改善方策

- どのようなアンケートが当校にあっていいのか内容や方法を検討し実施する。

③ 特記事項

<評価コメント>

- 授業評価アンケートの内容確認を行い、早い段階でのアンケートの実施および分析をし、改善をする必要がある。

(9) 財務

	評価項目	結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・財務を安定させるためには、入学生の確保が必須である。
- ・研修等を行い収支に寄与する。

② 今後の改善方策

- ・本校の知名度を向上させるために、高校訪問、ガイダンス等に参加しPRを続ける。
- ・実務者研修、喀痰研修の定員確保

③ 特記事項

- ・法人全体では経営は安定している。

<評価コメント>

- ・法人全体での財務状況は安定している。専門学校単体として収支を考えながら自立していく必要がある。

(10) 法令等の遵守

	評価項目	結果
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	介護福祉士養成施設の指定基準に適合しているか	4
3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
4	自己点検・評価結果を公開しているか	4

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・個人情報の取扱いのさらなる強化を図る。

② 今後の改善方策

- ・実習時の個人情報の取扱いについての指導を徹底する。特に実習時のメモの取扱いについての指導を強化する。

③ 特記事項

<評価コメント>

- ・法人全体として規程や方針ができており、法令が順守されている。実際に運営していく中で学生も含め対応していく必要がある。

(11) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	結果
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・ボランティア活動については、感染症の影響からか、福祉施設からの募集はほとんどない。
- ・学生は生活のためにアルバイトをしている状況があり、ボランティア活動を強く勧められない。

② 今後の改善方策

- ・授業内容として取り入れる。
- ・ポイント制などの導入

③ 特記事項

- ・介護の仕事の魅力向上活動に参加する。
- ・喀痰吸引等研修 実地研修、介護福祉士実務者研修を実施している。
- ・テクノ生の受け入れ

<評価コメント>

- ・いろいろな研修等を企画し、社会・地域への発信をしていくことが専門学校の知名度につながる。

(12) 留学生（国際交流）

	評価項目	結果
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2

※評価結果 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

① 課題

- ・担当職員制ではなく全教職員での対応
- ・就職時に事業団内それぞれの報酬が違うため、留学生にとっては混乱となる。

② 今後の改善方策

- ・留学生との面談を行い、就職活動支援を行う。

③ 特記事項

- ・留学生に対する公的支援（介護福祉士等貸付制度）の方策が、実績を基本に考えている。
- ・社会福祉法人の経営であるため、他法人の協力が得にくい。

<評価コメント>

- ・留学生対応は大変だが、全員で対応していることはいいと思われる。個別に細やかに対応することで、その経験が今後の留学生対応の質向上に繋がってくる。